

平成20年度当初予算案について

1. 歳入・歳出の概要

(単位：億円)

		H19当初	H19.6補正後	H20当初	増減		伸率
		(A)	(B)	(C)	(C)-(A)	(C)-(B)	(C)/(B)
歳入	1. 県税	694	694	694	0	0	0.0%
	2. 地方交付税(含む臨財債)	2,008	2,011	2,041	33	30	1.5%
	3. 県債(除く臨財債)	444	463	427	▲17	▲36	▲7.8%
	4. 国庫支出金	754	779	732	▲21	▲47	▲6.1%
	5. その他	1,207	1,219	1,117	▲90	▲102	▲8.4%
	計	5,107	5,166	5,012	▲95	▲154	▲3.0%
歳出	1. 給与関係経費	1,293	1,293	1,275	▲17	▲17	▲1.3%
	2. 公債費	975	975	963	▲12	▲12	▲1.2%
	3. 投資的経費	1,134	1,184	1,141	7	▲43	▲3.6%
	(1) 普通建設事業	1,051	1,101	1,067	16	▲34	▲3.1%
	(2) 災害復旧事業	83	83	74	▲9	▲9	▲10.8%
	4. 扶助費	298	300	306	8	6	2.0%
	5. その他	1,407	1,415	1,327	▲81	▲88	▲6.2%
	〃(除く制度融資等(注))	(868)	(876)	(856)	(▲12)	(▲20)	(▲2.2%)
計	5,107	5,166	5,012	▲95	▲154	▲3.0%	
〃(除く制度融資等)	(4,568)	(4,627)	(4,541)	(▲27)	(▲86)	(▲1.9%)	

(注) 中小企業制度融資貸付金・県単用地先行取得事業

2. 主な事業

(注)予算額の後の括弧書きはH19.6月補正後予算との対比

(1)「活力あるしまね」 ～産業の振興・雇用の確保～

- ・しまねのものづくり産業活性化プロジェクト【新規】
108百万円（ 皆 増 ）
生産・製造技術の課題解決のための技術アドバイザーの派遣や首都圏での販路開拓の取組を強化するなど、ものづくり企業を支援
- ・しまねIT産業振興事業【新規】 68百万円（ 皆 増 ）
自ら市場を開拓し高い成長性と高収益体質を実現できるIT企業群育成のための技術者養成講座の開催など、高い技術を有するIT人材の育成・集積を支援
- ・企業誘致体制の強化 58百万円（ +30百万円）
新規企業開拓等にあたる企業誘致専門員の増員（4人→10人）
- ・企業誘致のための各種助成事業 2,632百万円（+847百万円）
（拡充内容）IT産業に対する投資助成・家賃補助の拡充、航空運賃補助の創設
- ・地域産業人材育成・確保推進事業【新規】 14百万円（ 皆 増 ）
産業界と教育現場が連携して教育プログラム構築や県内就業支援を行えるよう人材育成コーディネーターを配置
- ・農林水産振興がんばる地域応援総合事業【新規】
326百万円（ 皆 増 ）
新たな農林水産業・農山漁村活性化計画(仮称)の戦略プランに位置づけるプロジェクト事業を推進する取組を支援するため、新たな総合補助金を創設

- ・建設産業経営革新促進事業 89百万円（ +5百万円）
 新分野進出のための専門相談の実施、初期投資への補助など、建設産業の構造改善に向けた取組を支援
- ・未来へ引き継ぐ石見銀山保全事業 214百万円（ +59百万円）
 世界遺産「石見銀山遺跡」を適切に管理し、未来へ継承していくため、調査研究と保存整備を柱として事業を実施。地方自治法施行60周年記念貨幣の発行による地方分権振興交付金35百万円を活用して、大田市の環境対応バス整備費を補助

(2)「安心して暮らせるしまね」、「心豊かなしまね」

～医療・福祉の確保・充実、安全な生活基盤の維持・確保など～

- ・障害者の自立に向けた特別支援事業 662百万円（ +25百万円）
 障害者の地域における自立生活の支援や極めて重度の障害者・児に対する支援強化など
- ・地域医療を支える医師確保養成対策事業 282百万円（ +13百万円）
 離島・中山間地域及び産科・小児医療等の特定診療科の医師確保のための医学生奨学金の貸与や診療科偏在対策など
- ・第3子以降保育料軽減事業 125百万円（ +47百万円）
 保育所等に入所している第3子以降の3歳未満の児童に係る保育料を軽減している市町村への補助。市町村の自由度を高めるため、補助要件を緩和
- ・DV被害者自立支援金貸付事業【新規】 3百万円（ 皆 増 ）
 DV被害者が一時保護所を退所する際に必要な生活資金や住宅資金を貸付

- ・ いじめ・不登校対策事業 201百万円（ +9百万円）
 不登校児童の多様な学びの場や居場所の充実、
 サポート強化などを実施。こころの医療センター
 に併設する若松分校内に医療と連携した教育相談
 窓口を設置
- ・ 学びいきいきサポート事業【新規】 90百万円（ 皆 増 ）
 不適応児童生徒のため自学教室を設置している
 小中学校に非常勤講師を配置
- ・ 中山間地域活性化重点施策推進事業【新規】 89百万円（ 皆 増 ）
 新たに策定する中山間地域活性化計画において
 取り組む「コミュニティづくり」や「生活交通シ
 ステム」等について市町村を支援
- ・ 地域貢献型集落営農確保・育成事業【新規】 60百万円（ 皆 増 ）
 農業・農村の維持活性化を図るため、人材育成
 や維持活動経費を支援し、コミュニティ維持など
 に積極的に取り組む「地域貢献型集落営農組織」
 の新規設立や取組強化を支援
- ・ 道路・河川等の維持修繕費(公共事業費)
7,224百万円（+921百万円）
 側溝等の道路の維持修繕、クラック補修等の橋
 梁の維持修繕、堆積土砂除去等の河川の維持修繕
 など

(3) 中山間地域対策

- ・ 中山間地域活性化重点施策推進事業【新規、再掲】
89百万円（ 皆 増 ）
- ・ 地域貢献型集落営農確保・育成事業【新規、再掲】
60百万円（ 皆 増 ）

- ・ 水と緑の森づくり事業 356百万円（ +48百万円）
（拡充内容）森づくり講座の実施、市町村が行う
市民参加型の森づくりの取組を支援、観光地や生
活に身近な場所の森林整備を進め県民がふれ合え
る「しまねの森」を形成

- ・ 鳥獣被害緊急対策モデル事業【新規】 6百万円（ 皆 増 ）
野生鳥獣による被害を軽減するため、集落ぐる
みでの総合的な取組を促進（集落リーダー養成、
緩衝帯設置）

(4) 県民・民間団体の社会貢献活動の支援

- ・ 県民いきいき活動促進事業 32百万円（ +12百万円）
NPO法人、ボランティア団体等多くの県民の
ユニークな発想や企画力を活かして、地域課題の
解決や地域の活性化につながる公共性・公益性の
高い活動を支援

- ・ 学校支援地域本部事業【新規】 80百万円（ 皆 増 ）
学校と地域との連携協力体制を構築するため、
地域をあげて学校を支援する気運を醸成するとと
もに、多様な形態の学校支援ボランティア活動を
掘り起こし